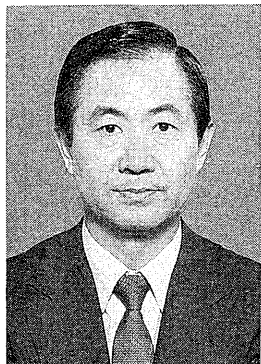


山陰
中央新報

細田、亀井氏が初当選



石橋 大吉氏



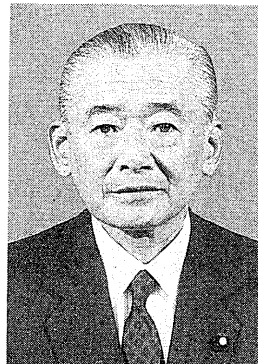
亀井 久興氏



細田 博之氏



桜内 義雄氏



竹下 登氏

能義村立中学校（現安来二中）
卒。安来市役所勤務を経て自治労
本部中央執行委員、同県本部委員
長、県評議議長などを歴任。衆院農
林水産委員を務めた。当選2回。
松江市南平台26-20（本籍・同）

学習院大学政経学部卒。日本郵船勤務後、代議士秘書を務め、昭和49年参院選に初当選。2期12年の間に郵政政務次官、商工委員長などを歴任。当選1回。鹿足郡津和野町中座1906（本籍・郡津和野町中座1906）

東京大学法学部卒。昭和61年1月まで19年間、通産省勤務。この間、石油公団ワシントン事務所長、物価対策課長などを歴任した。当選1回。松江市堂形町738-2（本籍・同町881）

慶応大学経済学部卒。通産（2回）、農林、建設、外務の各大臣、党政調会長（2回）、党幹事長を歴任。現在、旧中曽根派会長。当選16回。参院当選1回。東京都港区東麻布2-17-11（本籍・同）

早稲田大学商学部卒。内閣官房長官、建設、大蔵大臣などを歴任。後、昭和62年11月から1年7カ月、内閣総理大臣。当選12回。東京都世田谷区沢3-17-10（本籍・飯石郡掛合町掛合955）

竹下氏トップ、桜内氏も地力

社会は石橋氏、吉原氏落選

新人 議員獲得、社会 議員死守でます。九〇年の政治潮流を占う第三十九回衆議院選挙、最高裁判所の国民審査の必要は、十八日全国一斉に行われ、島根全地区（定数五）では即日開票の結果、竹下登（自民、前）、桜内義雄（自民、前）、前田博之（自民、前）、亀井久興（無所属、新）、石橋大吉（社会）、前田の五氏が当選、保守系が十四年ぶりに四議席を回復した。前回選挙で長期待感から自派得票した竹下氏は、大幅減票を減らしたものの、七回連続で二位当選。父・吉成氏に代わって出馬した細田氏は、若さをデビル、「細田ムード」にも乗って順調に票を伸ばした。前回最下位で、雪雲を晦した亀井氏は、地盤の石見部を手堅くまとめ、初当選。組織の高齢化などで苦戦が予想されていた内氏は、終盤での懸命な奮闘が功を奏し二位で当選した。完全地盤制りで二議席を守を旨とした社会党は、消費税問題など自民党批判票をまとめ切れず、一議席に止まった。石見氏は割り当られたた出雲部の票を手堅く積み重ね、二期目のシックスを再び六回に伸ばし、吉成氏は頼みとする石見部で亀井氏と競合して涙をのむ。六回連続当選を果たせなかった。前回落選から三年七カ月、地道な活動を続け、返り咲きを狙った中林氏は、他陣営の激しい攻防はじき飛ばされ、議席奪還はならなかった。投票率は八六・四五％で、前回（昭和六十一年同日選）の八六・九二％を下回った。

に議席を失った。同じ石見部に属する亀井片右衛門が衆議を伸ばしたあわやをきき急遽不発。地域割りをききみが出るとや前回比べて約三千票という前回の減少と主要材料が重なったことが最悪な響いた。

桜井氏は余給を持て当選した。序席は細田 亀の両新人が掲げた世代交代政策勢を受けて告戦したが、三位の選挙好となった。

議事等選を目指した中林氏は東青連などに干渉した其確約の退潮ムードの中で、終始低迷初選した当時のよしチヤム」はずがかり陰をひきめ各地で得票が減少。衆院選は初出馬し落選した。五十年の四万七千二百五十五票に約五千票回る結果に終わった。

社は、またも連続、議席を守ることはできなかった。弱きまとはいうものの、昨年参院選で保革系を呼び込んだ消費財、リアルトルビのじめんと、追風を呼びぬぎ、吉原氏が落選してしました。

社は第三十四回（昭和五十年）、吉原 桐野堂 両氏と、十五名の二面

[illegible]

島根全県区開票結果

(23時15分、選管最終)

當一〇八、一六九票	竹下	登	65	自前
當七九、八九〇票	桜内	義雄	77	自前
當七七、〇九九票	細田	博之	45	自新
當七五、二五二票	龜井	久興	50	無新
當六一、六〇四票	石橋	大吉	58	社前
次 六〇、〇七二票	吉原	米治	62	社前
四二、五八三票	中林	佳子	44	共五



初当選を飾り、父吉蔵前代議員⑥とともに万歳する細田博之氏。左は洋夫人
＝18日午後8時半、松江市堂形町

島根も世代交代の波

社会 地域割りが有名無実

[illegible]

で確定票が出た。午後、知夫村の順で開票が終了。午後十時半すぎ、またには、大栗田の都市部でも開票がほぼ終了、大勢が明らかになった。

新人一人の戦いぶりは見事だった。保系系新人が当選したのは、今回引退した細田吉蔵氏以来、実に三十二年。細田氏は父・吉蔵氏の前回票に約千四百票積みし、八時二十二分早々と当選を決定した。選挙戦を通じて若者が行動力を前面に出し、有権者に訴えた結果、浮動票をつかみ、三位で当選した。

もう一人の新人、亀井氏は前回票に一万七千票上積み、悲願を成し遂げた。理由は、何と云っても石見県。石見部で好調に票を出し、選挙票の票を上乗せする形で出さ切った。前回選から三年半余りにわたり、千回を超える小集会を開き、文字通りの草の根選挙を展開、支持者の拡大につながった。政策的にも消費

し、自分の政治的立場を主張する訴えだ。自民前職が口にしたことではききなぐり出してきたので、清新なイメージを印象づけた。また、消費税についても凍結（細田氏）、廃止（亀井氏）を打ち出すなど、自民批判票を受け狙った。十四年ぶりの保守四議席選出の原動力となった。

特に細田氏は、自民公認としては父・吉蔵に代いで三十年ぶりの新人。選挙力を路地裏まで伸ばされたり、本人も車から降って走って握手を求めたり、随分と若さを行動で表し、これまで、ダンさん選挙に傾倒していた有権者の目を見張せられた。また、吉蔵氏の地盤でもっとと離れ、三年半の地盤を運動で実らせた。

亀井氏は、徹底的締め付けにあった前回の選挙を果たした。やはり、三年半余の地道な活動で組織的にも成長、熱心な支持者が集まをいとなむ「草の根」選挙戦略で、浸透させたことが勝因につながった。

同所入の女性、反支持者の増

席を繰り返し、第三十人、回のの（二十一年）、議員を復帰橋岡氏のコンビで、大栗田の順で開票がほぼ終了、大勢が明らかになった。

新人一人の戦いぶりは見事だった。保系系新人が当選したのは、今回引退した細田吉蔵氏以来、実に三十二年。細田氏は父・吉蔵氏の前回票に約千四百票積みし、八時二十二分早々と当選を決定した。選挙戦を通じて若者が行動力を前面に出し、有権者に訴えた結果、浮動票をつかみ、三位で当選した。

もう一人の新人、亀井氏は前回票に一万七千票上積み、悲願を成し遂げた。理由は、何と云っても石見県。石見部で好調に票を出し、選挙票の票を上乗せする形で出さ切った。前回選から三年半余りにわたり、千回を超える小集会を開き、文字通りの草の根選挙を展開、支持者の拡大につながった。政策的にも消費

島根も世代交代の波

社会 地域割りが有名無実

社会2議席奪回

鳥
石破氏
トツ
平林氏今一步及ばず

鳥取全県区開票結果

(選挙結果)
22時5分

当八二、二六九票	石破	茂	33 前
当七五、四三九票	野坂	浩賢	65 社
当七五、一二一票	武部	文	69 社
当七一、三五四票	相沢	英之	70 自
次六六、三四五票	平林	鴻三	59 自
八三、三三三票	岩永	尚之	33 共
一八、八九票	中西	豊明	73 無
九、〇〇票	打田	重徳	61 無

お母さんの夢、かなえます。「ひらぎの」は、
お母さんの好み、かなえます。

お母さん、お料理上手だね？

間取り、どう？

キッチン、いい？

お母さんの味方です。

不動産情報

売住宅 ※掲載の表示価格に消費税は含まれません。

松江市西川津町小平

2,200万円 ●土地62.06坪 ●建物40.30坪
即日入居可能物件 ●建物28.60坪

松江市東松北台

6 3,160万円 ●土地91.51坪 ●建物34.20坪
8 2,885万円 ●土地66.05坪 ●建物32.60坪

松江市古志原町

B 2,247.2万円 ●土地40.30坪 ●建物41.00坪 (車庫付)
C 2,366.6万円 ●土地41.00坪 ●建物32.30坪
D 2,252.3万円 ●土地38.69坪 ●建物30.20坪

※水通工事費30万円

変則分譲可！

売土地

松江市東松北台

2 1,500万円 ●59.32坪
3 1,620万円 ●59.57坪 (車庫付)

八幡団地

A 852万円 ●40.60坪
B 960万円 ●46.00坪
C 1,280万円 ●56.70坪 (車庫付)

※水通工事費30万円

●上記建売広告は予定価格であり、販売を開始するまでは契約や予約申し込み一切応じません。

不動産ホットライン
☎0852-27-8851

有ヒラギノ不動産 ひらぎの建設

TEL(0852)27-8851 本社：松江市西川津町613 TEL(0852)24-3882 松江：松江市東松北町約